

特定非営利活動法人 とよたエコ人^{びと}プロジェクト

2010（平成 22）年度

第 3 回通常総会 議案書

日 時 2011 年 7 月 16 日（土） 14：00 ～ 14：45

場 所 豊田産業文化センター 4 階 視聴覚室（小坂本町 1-25）

通常総会 次第

1. 開会のあいさつ
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選出
4. 定足数の確認
5. 議案の審議
 - 【審議事項】 第 1 号議案 2010 年度事業報告（案）
 - 第 2 号議案 2010 年度収支決算（案）
 - 第 3 号議案 役員を選任
- 【報告事項】 1 2011 年度事業計画
- 2 2011 年度収支予算
6. 議長解任
7. 閉会

【審議事項】

第1号議案 2010年度事業報告 (期間 2010年6月1日から2011年5月31日まで)

《 概要 》

特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクトは、豊田市環境学習施設 **eco-T** (エコット) で活動する市民が中心となって、参加体験型の環境学習を通して、持続可能で豊かな地域社会 (エコライフとよた) の実現に寄与することを目的に、**2009年3月19日**に法人登記されました。

2009年度は設立間もないため、団体の基盤整備ならびに、特定非営利活動法人中部リサイクル運動市民の会が豊田市から受託していた **eco-T** の運営を実地研修 (OJT) として行い、**2010年4月**より当団体が運営を受託することができました。

2010年度は、下記3点を重点テーマとして取り組んできました。

①情報発信できるツールの開発 (社会的な認知・信頼の獲得につなげる)

団体機関誌 (季刊えこびと) の発行や、団体ブログの更新を通じて、団体の **PR** や活動紹介をすることができました。

②eco-T の運営の充実、発展 (エコ人の基盤を充実)

eco-T を1年間、運営することができました。**2010年度 (2010年4月～2011年3月)** は、来館者 **21,358** 人、見学 **187** 団体、施設利用 **397** 回、講座開催 **59** 回・参加者 **1,648** 人を数えました。渡刈クリーンセンターの旧工場解体工事に入る前までは、前年度を上回る来館や施設利用がありました。また、くらしの環境学習推進事業や出前講座向けの学習プログラムなどを拡充し、小学校の環境学習推進に寄与しました。

なお、旧清掃工場の解体工事が **2011年1月**より始まり、見学や施設利用が休止になったことを受けて、運営計画を見直し、交流館などの外部施設を利用して講座を実施しました。

③新規事業の掘り起こし (eco-T だけに頼らない独自事業)

豊田市との共働事業として、**2008年度**地域インタープリター育成講座から生まれた活動グループ「チーム南家」が主体となり、エコドライブ市民を増やすための講習会を **6** 回行い、約 **600** 人が楽しく学びました。

また、「**23年度**あいち森と緑づくり助成金」を受け (内定)、「緑のカーテン」の普及事業を開始しました。

詳しくは以下の通りです。

【事業活動】

1. 環境学習事業

(1) 環境学習講座の実施

eco-T の運営を通して、環境学習を実施しようとしている団体向けに、各種の講座を実施しました。要請先との打合せから講座の企画、準備、市民講師（インタープリター）との調整や派遣を行いました。学校向けに出前講座のメニューを出したこともあり、小・中学校向けが前年度（6校7回）から急増しました。

また、エコ人として直接、交流館などから要請を受けて講座を企画し、人材を派遣して環境学習講座を実施したものもありました。

①eco-T の運営を通して実施した環境学習講座（出前講座および学校特別対応、視察研修対応）

区分	内容	講座数	参加人数
小・中学校	エコ活動への動機づけ、調べ学習、温暖化、エコな買い物、シンパシーWS など	15校 23回	941
小・中学校関係者	展示学習プログラムの体験、意見交換	3	54
高校・大学	市民活動、エコドライブ、プログラムづくり	2校3回	92
こども会	竹はし&はし袋づくり、ごみ分別、3R	2	73
こども園	寸劇、食育、ごみ分別、3R	2	149
行政	eco-T 見学、施設運営、市民活動、環境活動	7	107
自治区	豊田市のごみの現状、ごみ分別	1	35
企業	ごみ拾いウォーク、環境活動の意見交換など	3	58
海外（アジア青少年）	見学と展示学習プログラム、世界のごみ処理ワークショップ、3Rと資源循環、省エネ	4	141
その他（大人向け）	eco-T 見学、施設運営、市民活動、意見交換	5	90
その他（子ども向け）	環境問題のレクチャー、未来のまちを考える	9	72

合計 53 団体 62 回 1,812 人

年度当初目標 25 回 ⇒ 達成率 248%

②エコ人が直接実施した出前講座（人材派遣）

回	開催日	派遣先	概要	参加人数
1	6/16（水）	豊田東ロータリークラブ	地球温暖化のレクチャー	100
2	10/23（土）	若園交流館	エコ活動への動機づけ、廃油キャンドルづくり	20
3	11/20（土）	下山交流館	エコライフ、生ごみコンポスト	9
4	11/30（火）	交流館職員主事研修会 （崇化館交流館）	環境学習講座の企画を考えるワークショップ	12

5	12/5 (日)	若園交流館	地元の森歩き、森遊び	15
6	1/22 (土)	とよた NPO 大学第 7 回	豊田市内企業の社会貢献事例報告	12
7	3/21 (月)	永覚新町子ども見守り隊	森遊び、エコゲームなど	36
8	5/7 (土)	猿投台交流館	エコ掃除のレクチャーと実演	21

合計 7 施設 8 回 225 人

年度当初目標 5 回 ⇒ 達成率 160%

(2) 環境学習を推進する人材の育成

eco-T の運営等を通して、環境学習を推進するための人材を育成し、活動の機会をつくりました。インタープリテーションの充実では、eco-T で活動するインタープリターといっしょに、エコスタッフ (eco-T 事務局) も学びました。

区分／当初目標	概要／実績 (成果) / 達成率
インタープリテーションの充実 インプリ学習会 5 回 プログラム活用 2 件	学習会の機会提供や支援、既存展示学習プログラムの活用に向けた学習グッズやマニュアルの改訂 成果：インタープリター学習会 18 回 プログラム活用 1 件 (「スーパー・えこっと」の出前化) ⇒ 達成率 (学習会 360%、プログラム活用 50%)
インタープリター育成 新規 10 名 (第 5 期)	主に eco-T の展示解説を通してエコライフを伝える人材の育成 成果：13 名受講、12 名修了、8 名ボランティア登録 ⇒ 達成率 130% (受講者ベース)
学習コーディネーター育成 (2010 年度育成) メイン担当者 5 名に	学校や地域の要望と eco-T を結び付ける人材の育成 成果：6 名受講、6 名修了、3 名が登録 (メイン担当者が 7 名に) ⇒ 達成率 140%
ボランティア活動の場 機会提供 5 回 ボランティア活動者のべ 100 名	イベントや講座等で機会を提供し、運営の手伝いをする人材を育成 成果 (機会提供)：計 10 回 1 日ボランティア体験会 3 回、かえっこバザール 5 回、 エコ商店街探検隊 2 回 成果 (活動者数)：125 名 1 日ボランティア体験会参加者 のべ 20 名 (9/25 再生紙 4 名、7/19 ペパバッグ 11 名、12/18 竹はし 5 名) かえっこバザール運営大学生ボランティア のべ 75 名 エコ商店街探検隊運営大学生ボランティア のべ 30 名 ⇒ 達成率 (機会提供 200%、活動者数 125%)
インターン受入 10 名	eco-T やエコ人で活動したい人の受入れ 成果：eco-T 事業を通じて 6 名・日、エコ人で 1 名・日を受入 ⇒ 達成率 70%

(3) エコドライブ市民を増やすための取組み事業の実施

エコドライブ市民を増やすための取組みとして、豊田市との共働提案事業『エコドライブ市民を増やすための取組み事業（環境モデル都市推進課）』を実施しました。

eco-T の 2008 年度地域インタープリター育成講座から生まれた活動グループ「チーム南家」が主体となって、自治区やイベント・大学等において、エコドライブを楽しみながら学び、誰かに伝えたいような講習会を実施。オリジナルキャラクターも登場し、子どもにもわかりやすく、楽しい講座を目指しました。

エコ人にとっては、行政との「共働とは何か？」を学ぶ機会にもなりました。

①講座実施一覧

回	開催日	概要（タイトル、会場、対象など）	参加人数
1	8/20（日）	「エコ&セーフティドライブでより良い地域を目指そう！」 （深田山公会堂にて、自治区長を対象に実施）	80
2	10/3（日）	逢妻ふれあいまつり「逢妻ドライブ ミニレクチャー」 （一般市民向け講座 50 名、その他クイズ大会やワークショップ）	294
3	10/29（金）	「エコドライブレクチャー ワークショップ」 （愛知学泉大学 3 次生を対象に講義のひとつとして実施）	42
4	11/27（土）	「チーム南家と学ぼう！エコ&安全！逢妻ドライブ」 （本地新田自治区民会館にて、自治区住民を対象に実施）	200
5	1/16（日）	「チーム南家と楽しく学ぶエコドライブ♪～もったいないシティを救え～」 （交通安全学習センターにて、同施設のミニイベント開催にあわせ、親子向けに午前・午後各 1 回実施）	155
6	2/20（日）	エコドライブ講習会「チーム南家と楽しく学ぼう！eco ドライブ」 第 1 部「もったいないシティを救え」 第 2 部「江古田家のエコドライブできるかな？」 （高橋コミュニティセンターにて、親子向けに実施）	48

合計 575 人

②エコドライブ啓発資材の検討、作成

- ・オリジナル缶バッチ (直径 54 mm)



あいづまもるくん 400 個
(逢妻交流館で配布)



とよたドライブカンバッチ 200 個
(交通安全学習センター及び
高橋コミュニティで配布)

- ・エコドライブリーフレット 5,000 枚 (12 cm角両面 6 ページ)



2. 環境学習等への支援、連携事業

(1) 環境イベント等への出展、企画・運営支援

eco-T の運営等を通して、環境学習や環境まちづくりを行う団体等の要請に応じて、イベントの出展や企画・運営の支援を行いました。中心市街地のイベントには、今後の連携を意識して積極的に関わり、豊田市中心市街地で初めて「かえっこバザール」を開催することができました。

区分	出展内容	回数
交流館祭	3R 認知度調査、新聞ペパバッグ、ごみ分別ゲームなど	16回
とよたまちパワーフェスタ (市街地イベント)	牛乳パック工作、積み木広場、エコライフすごろく、エコサイコロトーク、紙しばい、かえっこバザールなど	2回・4日
IYOIYO おいでん	かえっこバザール、クラフト (at パブリカ)	1回
産業フェスタ (市街地イベント)	缶バッチでエコ宣言、3R 認知度調査、プラスチック製容器包装不適物クイズなど	1回・2日
豊田市自然観察の森新ネイチャーセンターオープニングイベント	エコサイコロトーク、生ごみひとしぼり、ごみ分別ゲーム、新聞ペパバッグ、エコライフすごろく、紙しばい、牛乳パック工作、積み木など	1回・2日
愛知学泉大学学園祭	NPO 活動 (eco-T およびエコ人) に関するポスター掲示、かえっこバザール開催支援など	1回・2日
名古屋刑務所イベント	エコサイコロトーク、3R 認知度調査など	1回・2日
鯉恋まつり (下山地区)	牛乳パック工作、ごみ分別ゲームなど	1回
ふれ愛フェスタ (市街地)	かえっこバザール、クラフトなど	1回
エコ商店街探検隊	中心市街地でのまち歩き、マップづくり	1回・2日
打ち水大作戦	まちなかでの実施や水の確保について	1回

(2) 協議会等への参加

要請に応じて、協議会等に参加し、他施設のスタッフと情報交換しました。

協議会等の名称	内容
愛知県環境学習施設等連絡協議会 (1/28)	県の施策の相談と学習施設の情報交換・交流の機会
豊田市環境学習施設連携会議 (3/2)	市内の学習施設の情報交流会

(3) 豊森なりわい塾事務局の支援

トヨタ自動車株式会社、豊田市、NPO 法人地域の未来・志援センターの3者の主催事業「豊森なりわい塾」の第1期運営および第2期企画に関して、スタッフを派遣し、事業の準備・運営や、豊田市・地域への橋渡しの支援を行いました。

3. 環境配慮型商品等の普及促進事業

(1) 飲食店でエコつぶやき隊 (Make a CHANGE Day 関連として実施)

飲食店でのエコな取り組みを応援・促進するため、お店に置いてあるアンケート葉書を使ってコメントを書いてくることを、**Make a CHANGE Day** (1年に1回、全国で一斉にボランティア・市民活動を行う日。活動への初参加や、新たに発展的な活動を始めるきっかけづくりとして、平成22年度は10月23日(土)に開催)に合わせてやってみましょうと、機関誌やブログなどで呼びかけました。

実際に喫茶店、スーパー、弁当屋などで書いて来た内容を報告したり、MSCマーク(海のエコラベル)等、お店が取り組んでいるエコ活動を紹介する意見が寄せられるなどの反響がありました。

(2) かえっこバザールの開催および開催支援

リユース文化の醸成を図るため、eco-Tの運営等を通して、おもちゃの交換イベント「かえっこバザール」を5回開催し、多数の親子が参加しました。開催の企画・準備・運営では、愛知学泉大学のボランティアサークル「ジョイナス」のメンバーが中心的な役割を果たしました。同大学の学園祭では学生が自主的に企画、実施し、物品貸出や広報の協力などの支援を行いました。

徐々に認知度も広がって、リピーターとなった親子もあり、「次の開催はいつですか？」と待望する声も聞こえるようになってきました。

<かえっこバザール開催一覧>

回	開催日	会場など	参加人数
1	7/10(土)	豊田市中心市街地 GAZA 前広場 (IYOIYO おいでん開始前の空き時間に開催)	152名
2	2/13(日)	ナゴヤハウジングセンター豊田会場	500名
3	3/19(土)	豊田市中心市街地 コモ前広場	285名
4	3/20(日)	(とよたまちパワーフェスタ 2011 スプリング内)	150名
5	5/29(日)	豊田市中心市街地 (ふれ愛フェスタ 2011 内)	100名
—	10/24(日)	愛知学泉大学豊田キャンパス (学園祭) (学泉大学のボランティアサークル「ジョイナス」が開催)	—

なお、年度当初に予定していた、中部リサイクル運動市民の会が実施している「リユースステーション」の試行的な開催については、次年度以降に持ち越しました。

(3) 豊田市の事業等への協力

前年度に続いて、環境に配慮した行動に対して「とよたエコポイント」を発行する豊田市の制

度に協力し、22年度(4/1～3/31)は7,621ポイントを発行しました(21年度は1,186ポイント)。

また、豊田市が所有する、電気消費量が一目でわかる簡易装置「省エネナビ」の活用を図るためのモニター募集にも引き続き協力し、6家庭に貸出(うち1軒は設置出来ず)しました。設置後のアンケートでは、「待機電力を意識するようになった」「家族が節電に協力してくれるようになった」といった、設置効果ありとの意見が寄せられました。

(4) 緑のカーテン普及事業

当団体の新規事業に関する検討会を2月に理事メンバーで開催し、楽しく取り組めて省エネにつながる「緑のカーテン」の普及に向けた取り組みがスタートしました。eco-Tでの試行的な栽培と、情報の受・発信を通じて、一般家庭等での普及を目指します。

5月22日(日)に豊田市西山公園で開催した「緑のカーテン育て方講習会」には定員いっぱいの30名が参加し、盛況となりました。同日午後には、雨天の中、eco-Tの2ヶ所にプランターおよびネットを設置し、植物を植えました。「野菜類を栽培すると、野菜が採れすぎて困る」という声もあることから、亜熱帯産のパッションフルーツでの実践も試行中です。

この事業は、岐阜県関市にある「関むぎパッションフルーツ組合」の協力を得て実施中です。また、「23年度あいち森と緑づくり事業」の助成金(内定済み)を活用しています。



<緑のカーテン育て方講習会の様子(5月22日)>



<eco-Tでの設置状況(5月22日)>

4. 調査研究、政策提言事業

(1) 各種委員会等への参加

行政等からの要請に応じて、委員会や意見交換会等に参加しました。

委員会等の名称	概要
豊田市環境審議会	一般廃棄物の処理手数料についての審議 「緑のリサイクルセンター」の設置に伴う料金設定も含む
とよたエコドライブプロジェクト実行委員会	国の環境モデル都市指定を受けて、エコドライブの普及により企業と市民のCO ₂ と交通事故の削減を目指す取組み
家庭省エネ診断事業（あいち・うちエコ診断）検討委員会	愛知県地球温暖化防止活動推進センター主催 豊田市地域での省エネ診断員としてインタープリターを紹介
土橋小学校エコ改修事業	施設のエコ改修事業に関連した環境教育の実施に関する意見交換ならびに学習会への参加
学校管理メリットシステム	学校での省エネ推進・経費節減に関するレクチャーと eco-T の見学
市民ができるごみ減量に関する意見交換会（ごみ減量推進課）	実際に取り組んでいるごみ減量行動や市の施策に関する意見交換など
公共施設延命化ならびに環境配慮改修（環境政策課）	人材育成講座の企画検討
新環境学習ホームページ制作（環境モデル都市推進課）	スマートグリッド事業に関連して豊田市が新設するホームページに関する意見交換

(2) 自治体等へのレクチャー

eco-T の運営を通じて、関心のある自治体等に対して、市民参画や共働、環境学習施設の運営、環境学習の効果などについてのレクチャーを実施しました。

- ・豊田市（新人職員研修）
- ・春日井市役所（エコメッセ）
- ・3R 推進マイスター
- ・北九州市環境学習課
- ・羽場環境美化部会
- ・北九州市環境ミュージアム
- ・かごしま環境未来館
- ・フルハン環境総合研究所
（安城市環境学習センター「エコきち」）

(3) 共働事業に関する助言

豊田市との共働提案事業として実施した『エコドライブ市民を増やすための取組み事業』（詳細は P.4～5）での経験をベースに、成果報告会や平成 23 年度共働提案事業説明会等の場で「行政との共働事業」についての経験談を伝え、行政側・市民側への助言を行いました。

5. 情報受発信事業

(1) 情報収集

環境学習や市民活動に関するメールマガジンの受信、専門誌の購入等により、引き続き情報の収集に努めました。

<主な定期購読誌等>

- ・ソトコト
- ・ **BIO-CITY**
- ・季刊うかたま
- ・オルタナ
- ・ **Volo** (ウォロ)
- ・ **GREEN STYLE** (フリーペーパー)
- ・ **GREEN REPORT**
- ・ ビジネスアイ エネコ
- ・ 月間廃棄物
- ・ 日経エコロジー
- ・ 環境ビジネス
- ・ 循環経済新聞
- ・ 新聞記事データベース ゴミとリサイクル

(2) 情報発信の試行

6月に団体パンフレットを製作し、講演会や講習会など、機会あるごとに配布しました。

また、団体の機関誌「季刊えこびと」を9月に創刊し、3回発行したほか、7月11日(日)に開催した講演会の実施記録を作成し、関心のある方々に配布しました。

<季刊えこびと発行状況>

号数	発行月	特集記事
1 (2010 秋号)	9月	秋の夜長におすすめの1冊 (同時発行：講演会実施記録)
2 (2010 冬号)	12月	(スロービジネスを展開する) 中村隆市さんと車座トーク
3 (2011 春号)	3月	共働とは何か?を考える (チーム南家へのインタビューより)

また、日本財団が提供する公益事業のコミュニティサイト「CANPAN」の団体ブログを8月以降は、月に4～8回程度更新し、活動の様子や理事の思いなど幅広く発信しました。アクセス数は月間400回程度になりました。この他に、あいち環境学習ライブラリーやとよた市民活動センター等のWebサイトに、団体情報を掲載・更新しました。また、日本環境保護国際交流会(JEE)の構成団体に加えていただき、団体の名称入り2011年度環境カレンダーを発行し、会員やお世話になった方々に配布しました。

なお、年度当初に予定していたホームページの製作は、機関誌とブログを優先することとし、次年度に先送りしました。

(3) シンポジウム等の開催

2010年4月より豊田市環境学習施設 eco-T（エコット）の運営を受託したことを機に、第2回総会と合わせて、7月11日（日）、とよた市民活動センターにて、名古屋市のインキュベーション施設「COMBi 本陣」を運営する NPO 法人起業支援ネット代表の久野美奈子さんを講師に迎え、施設運営と組織づくりに関する講演会「施設とともに育つ ～魅力的な施設運営と組織づくり～」を開催し、施設運営に際して大切にしなければならないことを、他施設の事例から学びました。

6. 環境学習施設等の管理運営事業

2010年4月より豊田市から受託している豊田市環境学習施設 eco-T（エコット）の施設運営を行いました。前年度に NPO 法人中部リサイクル運動市民の会のもとで実地研修してきたことをベースに、大きなトラブルなく1年間、運営することができました。この成果により、2011年度（2011年4月より1年間）も、引き続き豊田市から受託することができました。

一方で、スタッフの指導力不足により、職員の離職がありました。慢性的に事務局のマンパワーが不足気味で、このままでは活動のステップアップが図りにくい状況です。

7. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

前年度に引き続き、環境学習や地域活性化を目的とした啓発グッズ（缶バッジ）の製作・販売を行いました。

【法人運営】

1. 会員

正会員・賛助会員を合わせて、53名・1団体になりました。

区分	22年度会員数	年度目標	21年度会員数	備考
正会員	24名	30名	23名	
賛助会員・学生会員	29名・1団体	30名	22名	学生会員がない

2. 寄付等

3月11日（金）に発生した東日本大震災を受け、3月19日（土）、20日（日）の2日間、豊田市中心市街地で開催された「とよたまちパワーフェスタ 2011 春」会場にて、「被災された方々の生活再建を応援するためのボランティア活動への寄付」を募りました。みなさまからお預かりした62,546円は、NPO法人矢作川自給村稲穂の里との連名で、NPO法人レスキューストックヤードに全額送金しました。

3. 会議の開催

（1）通常総会

7月11日（日）、とよた市民活動センターにて、出席者24名（うち表決委任者6名）で開催しました。2009年度事業報告、2009年度収支決算について審議し、議決しました。

（2）理事会

11回開催し、運営上の課題や新規事業、つなぎ融資の借入等について、話し合いました。

この他に、新規事業検討会を2/16（水）に開催しました。

<理事会開催一覧>

回	開催日	主な議題	出席者数
1	6/16（水）	総会準備、22年度事業計画と収支予算、団体パンフ	8（1）
2	6/30（水）	総会議案書最終確認、団体パンフ、エコドライブ共働	5（2）
3	8/19（木）	総会ふりかえり、エコドライブ共働、融資相談、情報発信	6（1）
4	9/20（月）	季刊誌創刊、あいち環境賞、Make a change dayに向けて	8（1）
5	11/3（水）	安全管理とトラブル対応、資金繰り見通し、ロードマップ	8（1）
6	12/8（水）	来年度に向けて、ロードマップ、理事研修	6（1）
7	2/3（木）	出前講座、1～3月のeco-T運営、体制づくり、新規事業	8（1）
8	2/3（木）	つなぎ融資借入	8（1）

9	3/2 (水)	借入報告、エコドライブ共働、新規事業検討会の結果報告	6 (2)
10	4/14 (木)	収支予測と職員給与、eco-T 年度報告、緑のカーテン新事業	6 (1)
11	5/25 (水)	新環境学習 HP、市の節電啓発事業への相談対応、総会準備	6 (2)

※出席者数の () 内は、当団体スタッフおよびアドバイザーの出席人数

4. 研修等

施設運営の向上や学習事業の充実を図るため、ストップおんだん館の展示クリエイターを指導者に迎えて学習プログラムをつくる研修を半年以上かけて実施した他、外部で開催された研修会等に参加する形で、スタッフや理事の研修を行いました。

<eco-T 事務局スタッフによる学習プログラムづくり研修>

回	開催日	概要
1	7/15 (木)	導入 (イントロダクション)
2	9/15 (水)	現状の展示物を評価するワークショップ プログラム制作実習のためのテーマ出しとチーム分け
3	11/17 (水)	プログラム中間発表会 1
4	1/20 (木)	プログラム中間発表会 2
5	3/31 (木)	プログラム発表会 (グリーンマップづくり、ライフスタイルを見直そう)

<スタッフや理事が参加した外部の研修会等 (主なもの) >

- ・公共の担い手育成塾 (あいち NPO 交流プラザ)
- ・とよた NPO 大学 NPO スキルアップ講座
- ・ボランティアコーディネーター実践講座
- ・市民活動のためのファシリテーター入門講座
- ・3 R & 低炭素社会検定 (受験)
- ・環境立国エコ・エコネーションゲーム体験会 (株式会社フルハシ環境総合研究所)
- ・LCA を用いた環境学習プログラム模擬開催・モニター
- ・土橋小学校エコ改修 (教職員向けの学習会に特別参加)
- ・NPO と行政の共働に関する実務者会議中間報告会 (聴講)
- ・環境モデル都市講演会 (聴講)
- ・愛フェス (ファンドレイジングイベント) 2010 (視察)
- ・COP10 グリーンマップフォーラム (視察)

第2号議案 2009年度収支決算 (期間 2010年6月1日から2011年5月31日まで)

1. 活動計算書

(単位:円)

科目	金額		備考
I 経常収入			
1 会費収入			
・正会員会費収入	240,000		正会員10,000円×24名
・賛助会員(個人)会費収入	39,000		賛助会員(個人)29名、1,000円×39口
・賛助会員(団体)会費収入	12,000	291,000	賛助会員(団体)1団体、3,000円×4口
2 事業収入			
・環境学習事業	1,834,110		交流館等出前講座、エコドライブ市民を増やすための取組み事業
・環境学習等への支援・連携事業	675,000		豊森なりわい塾、環境イベント等出展
・環境学習施設等の管理運営事業	41,580,000		豊田市環境学習施設eco-T
・その他の事業	98,600	44,187,710	缶バッチ
3 受取助成金			
・あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金	250,000	250,000	緑のカーテン(環境配慮型商品等の普及促進事業)
4 寄付金収入	2,000	2,000	1件
5 その他収入			
・受取利息	1,392	1,392	
経常収入合計			44,732,102
II 経常費用			
1 事業費			
1) 人件費			
・給与手当	18,926,596		豊田市環境学習施設eco-T:12名、エコドライブ市民を増やすための取組み事業:6名
・法定福利費・通勤費	2,174,070		
・アルバイト給与	346,000	21,446,666	講座アルバイト費用、学習コーディネーター費用
2) その他経費			
・通信費	373,369		展示什器送料など
・旅費交通費	5,259,180		インタープリター交通費など
・広告宣伝費	1,446,549		イベントチラシ、eco-T通信など
・会議費	10,400		
・事務用品・消耗品費	700,878		
・講座・イベント等材料費	566,492		
・新聞図書・展示用品費	467,006		新聞・雑誌購読料、参考図書など
・リース料	752,700		業務車両リース、貸切バスなど
・修繕費	189,170		プリンター、展示修繕など
・保険料	101,940		ボランティア保険、行事保険
・租税公課	21,550		
・福利厚生費	137,072		
・報酬	2,279,222		チラシなどデザイン、展示製作、講師謝金など
・支払手数料	182,114		映画上映料、ごみ処理手数料、振込手数料など
・雑費	3,000	12,490,642	
2 管理費			
1) 人件費			
・給与手当	2,195,290		兼務職員分は従事割合により按分
・賞与	1,004,000		
・法定福利費	352,923	3,552,213	
2) その他経費			
・通信費	39,885		
・旅費交通費	64,340		
・広告宣伝費	40,200		環境カレンダー
・会議費	14,097		
・事務用品・消耗品費	232,971		
・新聞図書費	4,780		
・地代家賃	120,000		事務所費
・租税公課	11,568		
・諸会費	20,000		中部リサイクル運動市民の会
・福利厚生費	90,563		健康診断など
・支払手数料	1,294,937		IT、総務(経理・労務)支援、振込手数料など
・支払利息	13,611	1,946,952	
3 法人税、住民税および事業税	1,447,500	1,447,500	
経常費用合計			40,883,973
III 正味財産増減の部			
当期正味財産増減額			3,848,129
前期繰越正味財産額			436,603
次期繰越正味財産額			4,284,732

■財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準 (2010 年 7 月 20 日 NPO 法人会計基準協議会) によっています。

同基準では、特定非営利活動促進法第 28 条第 1 項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

2. 会計方針の変更

客観性と透明性をより高めるため、2010 年度から NPO 法人会計基準の基づき財務諸表を作成しています。

3. 経常費用の部門別内訳

(単位:円)

科目	環境学習事業	環境学習等への支援・連携事業	環境配慮型商品等の普及促進事業	情報受発信事業	環境学習施設等の管理運営事業	その他の事業	管理部門	合計
1 事業費								
1) 人件費								
・給与手当	1,129,310	386,200	0	0	17,411,086	0	0	18,926,596
・法定福利費・通勤費	0	57,396	0	0	2,116,674	0	0	2,174,070
・アルバイト給与	20,000	0	0	0	326,000	0	0	346,000
人件費計	1,149,310	443,596	0	0	19,853,760	0	0	21,446,666
2) その他経費								
・通信費	48,080	0	0	0	325,289	0	0	373,369
・旅費交通費	431,910	44,000	0	0	4,783,270	0	0	5,259,180
・広告宣伝費	108,360	0	0	0	1,338,189	0	0	1,446,549
・会議費	0	0	0	0	10,400	0	0	10,400
・事務用品・消耗品費	15,750	0	0	0	685,128	0	0	700,878
・講座・イベント等材料費	19,402	0	165,732	0	303,958	77,400	0	566,492
・新聞図書・展示用品費	0	0	0	0	467,006	0	0	467,006
・リース料	0	0	0	0	752,700	0	0	752,700
・修繕費	0	0	0	0	189,170	0	0	189,170
・保険料	0	0	0	0	101,940	0	0	101,940
・租税公課	0	0	0	0	21,550	0	0	21,550
・福利厚生費	0	0	0	0	137,072	0	0	137,072
・報酬	37,000	0	30,000	30,000	2,182,222	0	0	2,279,222
・支払手数料	0	0	0	0	182,114	0	0	182,114
・雑費	0	0	0	0	3,000	0	0	3,000
その他経費計	660,502	44,000	195,732	30,000	11,483,008	77,400	0	12,490,642
2 管理費								
1) 人件費								
・給与手当	0	0	0	0	0	0	2,195,290	2,195,290
・賞与	0	0	0	0	0	0	1,004,000	1,004,000
・法定福利費	0	0	0	0	0	0	352,923	352,923
人件費計	0	0	0	0	0	0	3,552,213	3,552,213
2) その他経費								
・その他経費	0	0	0	0	0	0	1,946,952	1,946,952
その他経費計	0	0	0	0	0	0	1,946,952	1,946,952
3 法人税、住民税および事業税								
・法人税等	0	0	0	0	0	0	1,447,500	1,447,500
合計	1,809,812	487,596	195,732	30,000	31,336,768	77,400	6,946,665	40,883,973

2. 貸借対照表

(単位:円)

科目・摘要	金額		備考
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	208,282		
普通預金	11,961,464		三菱東京UFJ銀行、豊田信用金庫、ゆうちょ銀行
売掛金	50,000		
未収金	250,000		助成金(緑のカーテン)
立替金	6,900		
流動資産合計		12,476,646	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
3 投資等			
出資金	10,000		豊田信用金庫
投資等合計		10,000	
資産合計			12,486,646
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金	262,705		
未払金	1,977,031		5月分給与、社会保険など
前受金	4,265,000		豊田市環境学習施設eco-T
預り金	249,678		社会保険、雇用保険、源泉所得税、住民税
未払い法人税等	1,447,500		
流動負債合計		8,201,914	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			8,201,914
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		436,603	
当期正味財産増加額		3,848,129	
正味財産合計			4,284,732
負債および正味財産合計			12,486,646

3. 財産目録

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 現金手許有高	208,282		
普通預金 三菱東京UFJ銀行 豊田南支店	3,484,088		
普通預金 豊田信用金庫 本店営業部	8,466,576		
普通預金 ゆうちょ銀行	10,800		
売掛金			
事業収入	50,000		
未収金			
受取助成金	250,000		
立替金	6,900		
流動資産合計		12,476,646	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
3 投資等			
出資金	10,000		
投資等合計		10,000	
資産合計			12,486,646
II 負債の部			
1 流動負債			
買掛金			
事業費(事務用品費・広告宣伝費・支払手数料)	262,705		
未払金			
給与手当	1,235,414		
法定福利費・通勤費	136,110		
事業費(交通費・通信費・材料費)	362,707		
管理費(家賃・通信費・支払手数料(IT・総務支援	242,800		
法人税等	1,447,500		
前受金			
事業収入	4,265,000		
預り金			
社会保険料	102,396		
雇用保険料	57,882		
源泉所得税	60,100		
住民税	29,300		
流動負債合計		8,201,914	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			8,201,914
正味財産			4,284,732

4. 監査報告

2010年6月1日から2011年5月31日までの特定非営利活動法人とよたエコ人プロジェクトの決算書類を監査した結果、処理が適正である事を認めます。

2011年 6 月 28日

監事

石村正行



第3号議案 役員の選任について

定款附則にもとづき、2011年7月16日に全役員の任期が終了します。

これに伴い、下記10名を理事に、1名を監事に推薦する旨を2011年5月25日の理事会において議決しましたので、承認をお願いします。なお任期は、2年後の2013年通常総会当日までとなります。

1. 理事候補者名（10名）

継続理事候補

岩月 桂子

小泉 達也

坂本 竜児

長嶋 一枝

萩原 喜之

萩原 恵子

松浦 貴子

南谷 五郎

新理事候補

田上 治

野武 審

2. 監事候補者名（1名）

石村 正行

【報告事項】

1 2011 年度事業計画 (期間 2011 年 6 月 1 日から 2012 年 5 月 31 日まで)

《 方針 》

見学・利用休止中の eco-T の運営を充実させるとともに、利用再開や 5 周年 (2012 年 6 月 1 日) を盛り上げるための準備を進めます。

また、これまでに関係してきた行政や企業と積極的に共働して、環境学習の推進と成果の見える化を検討します。

組織運営の基盤として、慢性的な人手不足を解消し、新規事業の検討や活動拠点づくりの検討を行います。

2011 年度の重点テーマ

- ・人材の充実 (eco-T 事務局スタッフ、エコ人を担う人、エコ人ファンづくり)
- ・eco-T の充実・発展 (初心にかえる、再オープン+5 周年に向けた魅力創出)
- ・新規事業の掘り起こし (緑のカーテン事業の継続・発展、+α)

【事業活動】

1. 環境学習事業

(1) 環境学習講座の実施

環境学習を実施しようとしている各種団体（小・中学校、高校、大学、企業、子ども会、自治区、行政など）向けに、出前講座や eco-T でプログラムを実施します。出前講座については、より幅広い要望にこたえるべくメニューの充実を図るとともに、学習コーディネーターが関わる範囲を明確にするなど、実施するためのしくみ・体制づくりも進めます。

対象	目標
小・中学校、高校・大学、企業、子ども会、自治区・サークル、行政など、環境学習を実施しようとしている各種団体	eco-T 業務 25 件 eco-T 以外 5 件

(2) 環境学習を推進する人材の育成

eco-T のインタープリターや学習コーディネーター、ボランティア活動の担い手を育成します。また、学習会や研修、実際の活動を通じて、それぞれのレベルアップを図ります。

項目	内容	目標
インタープリテーションの充実	学習会の開催（支援）やうまく活用されていない既存展示学習プログラムの活用に向けた、学習グッズやマニュアルの改訂	インプリ学習会 5 回 展示学習プログラムの活用 2 件
インタープリター	展示解説や出前講座を担う人材の育成	新規 10 名
学習コーディネーター	学校や交流館などの学習事業企画者の要望を聞きプログラムを作成し、市民講師（インタープリターなど）との橋渡しをする人材の育成	コーディネーターによる「くらしの環境学習推進校」の対応 13 校
ボランティア	イベントや講座等でボランティアの機会を提供し、運営の手伝いをする人材の育成（大学生ボランティアなど）	機会提供 5 回 ボランティア活動者のべ 100 名
インターン	エコ人や eco-T で活動したい人の受入れ	10 名
地域インタープリター	交流館のエコ改修の案内をするとともに、環境活動を広げていく地域グループの育成	新規 10 名

(3) 節電講座

東日本大震災の影響を受けて、全国的に電力不足が懸念される状況にあります。豊田市として節電の啓発を検討しており、これに協力する形で節電の情報収集ならびに講座を開催するために必要な資料作成を実施します。

なお、eco-T 館内でも節電に取り組むとともに見学者への啓発を行います。

2. 環境学習等への支援、連携事業

(1) 環境イベント等への企画・運営支援、ブース出展

交流館や企業、自治区、市民団体など各種団体からの要請に応じて、環境学習や環境まちづくりを目的としたイベントの支援を行います。

- ① イベントの部分的なプロデュースや運営、ごみ減量・グリーン電力化に向けた提案の実施
- ② 体験ゲームやクラフト、パネル展示等を中心に、エコライフを楽しく啓発するブース出展
- ③ eco-T やエコ人の紹介（市民活動の PR）を主目的とした、ブース出展

(2) 各種協議会等への参加

要請に応じて、協議会等に参加します。

- ・ 愛知県環境学習施設連絡協議会
- ・ 豊田市環境学習施設連携会議 ほか

3. 環境配慮型商品等の普及促進事業

(1) 緑のカーテン普及事業

省エネにつながる「緑のカーテン」の一般家庭等での普及を目的として、eco-T での試行的な実践（栽培）により、冷却効果の測定や実践ノウハウを蓄積します。公共施設見学で渡刈クリーンセンターにくる小学4年生を中心に、実際に目にしてもらうことで、緑のカーテンを PR します。また、eco-T や市民モニター家庭での植物の成長の様子をブログや機関誌等で発信することで、幅広い対象への PR を図ります。

実践（栽培）終了後には、取組みの成果をまとめた簡易報告書を作成し、12 月上旬を目途に報告会を開催し、来年度に多くの家庭等で取り組んでもらえるよう、はたらきかけます。

この事業は、岐阜県関市にある「関むぎパッションフルーツ組合」の協力を得て実施し、「23 年度あいち森と緑づくり事業」の助成金（内定済み）を活用します。

(2) リユースイベントの地域展開

子どものおもちゃの交換イベント「かえっこバザール」を地域展開し、リユース文化の醸成を図ります。また、イベント開催等に合わせて「リユースステーション」や「大人向けかえっこバザール」を試行する等、新たなリユースのしくみづくりや拠点づくりを検討します。

(3) 地産地食・地域活性化の推進

イベント開催等の機会を利用して、豊田市内や矢作川流域の産直品の販売や人的交流を図り、地産地食の推進や、自分が暮らす地域を自分が（買い）支えることの大切さを PR します。

4. 調査研究、政策提言事業

行政等が主催する各種委員会（市環境審議会、とよたエコドライブプロジェクト実行委員会、仮称とよた省エネ元気なまちづくりコンソーシアム等）への参加を通じて、市民の環境行動の促進や環境まちづくりの推進に向けた情報収集ならびに展開が可能な事業の試行を試みます。

また、eco-T や当団体の運営を通じて他地域に参考になるようなことがあれば、視察の受入れやレクチャーを行い、他地域を支援します。

5. 情報受発信事業

（1）情報収集

環境学習や市民活動に関するメールマガジンの受信、専門誌の購入等により、引き続き情報の収集に努めます。

（2）情報発信の試行

当団体の PR と環境行動の促進に向けて、定期的な機関誌の発行と団体ブログの更新を行います。また、団体ホームページの製作についても検討します。

（3）シンポジウム等の開催

エコ人が関心を持つテーマのシンポジウム・講演会を開催します。

6. 環境学習施設等の管理運営事業

豊田市からの委託を受けて、豊田市環境学習施設 eco-T の運営を実施します。渡刈クリーンセンター旧工場解体工事に伴って見学・利用休止中の eco-T ですが、豊田市の各地域と顔の見える関係をつくる好機と考え、まちなかや他施設での活動を充実します。

また、利用再開やオープン 5 周年（2012 年 6 月 1 日）、来館者 10 万人に向けて、eco-T がオープン当初から大切にしてきた『気づきから行動へ』を合言葉にしたエコライフを広げる施設として、「おもてなしの気持ち」や「地域に必要とされる eco-T を目指す」という初心にかえり、事務局とインタープリター（市民ボランティア）が一体となって、ひとつひとつの活動をていねいに進めていくよう、心がけます。

7. その他、法人の目的を達成するために必要な事業

環境啓発グッズの製作・販売を引き続き行います。また、必要な事業があれば行っていきます。

【法人運営】

1. 会員

正会員 30 名、賛助・学生会員 35 名を目標に、会員を募集します。

(参考：平成 22 年度末時点正会員 24 名、賛助会員 29 名・1 団体)

2. 寄付等

イベントや懇親会など、機会あるごとに運営資金の寄付を募ります。

3. 会議の開催

(1) 通常総会

7 月 16 日 (土) に、豊田産業文化センターにて、実施します。

合わせて、エコ人の目指す、エコライフ講座を考えるミニシンポジウム (学習会&意見交換会) を開きます。

(2) 理事会

月に 1 回程度開催し、新規事業づくりや運営上の課題等についての話し合いを行います。

4. 研修等

施設運営の向上や学習事業の充実を図るため、外部で開催される研修会等にスタッフや理事が参加できるよう、情報を収集し、参加を促進します。

2. 2011年度収支予算 (期間 2011年6月1日から2012年5月31日まで)

科 目	金 額 (円)		備考
I 収入の部			
1 会費収入			
1) 正会員会費収入	300,000		正会員30名
2) 賛助会員会費収入	30,000	330,000	賛助会員・学生会員35名
2 寄付金収入	10,000	10,000	
3 事業収入			
1) 環境学習事業	525,000		節電講座業務(～7月)、出前講座5回など
2) 環境学習等への支援、連携事業	660,000		豊森なりわい塾(6～5月)、イベント出展3回など
3) 環境配慮型商品等の普及促進事業	60,000		緑のカーテン用パッションフルーツ苗代
4) 調査研究、政策提言事業	0		
5) 情報受発信事業	0		
6) 環境学習施設等の管理運営事業	41,580,000		eco-T運営業務(6～3, 4～5月)
7) その他事業	0	42,825,000	
4 その他収入			
1) 受取利息	1,000	1,000	
当期収入合計			43,166,000
II 支出の部			
1 事業費			
1) 環境学習事業	420,000		節電講座業務、人件費、交通費など
2) 環境学習等への支援、連携事業	600,000		人件費、交通費、イベント材料費など
3) 環境配慮型商品等の普及促進事業	150,000		緑のカーテン材料代、報告会会場代、人件費など
4) 調査研究、政策提言事業	0		
5) 情報受発信事業	45,000		総会学習会
6) 環境学習施設等の管理運営事業	33,264,000		eco-T委託業務
7) その他事業	0	34,479,000	
2 管理費			
1) 役員報酬	0		
2) 給料手当	2,432,800		法人運営
3) 臨時雇賃金	0		
4) 福利厚生費	240,000		
5) 会議費	20,000		理事会10回、総会1回
6) 旅費交通費	30,000		会議参加交通費等
7) 通信運搬費	54,000		電話料2万4千円、郵送料3万円 等
8) 消耗什器備品費	0		
9) 消耗品費	12,000		事務用消耗品費等
10) 印刷製本費	120,000		パンフレット・チラシ印刷費
11) 光熱水料費	0		
12) 賃借料	120,000		事務所費
13) 保険料	30,000		損害保険料
14) 諸謝金・会費	20,000		会費
15) リース料	0		
16) 支払い手数料	1,212,000		IT、総務関係のサポート、振込手数料
15) 租税公課	25,000		収入印紙
16) 雑費	0		
17) 法人税等	1,223,900	5,539,700	法人税、住民税および事業税
3 予備費			
1) 予備費	0	0	
当期支出合計			40,018,700
当期収支差額			3,147,300
前期繰越収支差額			4,284,732
次期繰越収支差額			7,432,032

2011年7月 特定非営利活動法人 とよたエコ人プロジェクト

【団体所在地】

〒470-1207

豊田市駕鴨町中高根 113 番地 1

エクセルタウン高根台D-101 号

電話 0565-28-1956 FAX 0565-42-2805

【連絡先】

豊田市環境学習施設 eco-T (エコット)

(豊田市より施設運営事業を受託しています)

〒470-1202 豊田市渡刈町大明神 39-3

開館時間 9:00~17:00 平成23年度休館日 毎週日曜日

TEL 0565-26-8058 FAX 0565-26-8068

<http://www.eco-toyota.com/>